

三 カミナリくんとスカイツリー

みなさん、東京スカイツリーって行ったことありますか？

今日は、黄鬼くんも、赤鬼くんや青鬼くん、それに、いとこのカミナリくんといっしょにスカイツリー見物にやってきました。

それにしても、びっくり！下から見上げるスカイツリーは、まあ、なんて高いんでしょう。お天気もいいし、てんぼう台というところまでのぼったら、きっと地球のはてまで見えるにちがいありません。

「ようし、さっそくのぼってみようよ！」

カミナリくんのかけ声で、黄鬼くんたちは、チケットを買ってエレベーターに乗りこみました。

カミナリくんは、高いところが大好きです。だって、カミナリさまの子どもですから。ところが、エレベーターからおりた黄鬼くんたちは、また、びっくりしました。

なんと、てんぼう台の大きな窓のむこうには、あつく雲がたちこめています。

「あれえ、おかしいなあ？さっきまで、あんなに晴れてたのに」

黄鬼くんが、がっかりするまもなく、ゴロゴロ、ゴロゴロ……。おや？これは、カミナリの音でしょうか？。

やがて、大粒の雨が窓にパチパチとあたり、それから、ピカピカッ、ドッカーン！いなずままで走るようになってしまいました。

「しかたない、また、こんど来ようよ」

カミナリくんが、しょんぼりと言いました。

ところがです。黄鬼くんたちが、エレベーターで下までおると、やっぱり表は晴れています。

「へんだなあ、へんだなあ」と首をかしげているカミナリくんと赤鬼くん、青鬼くん。

でも、黄鬼くんは、うっすらと気づいていました。きっと、カミナリくんと空までのぼったから、嵐みたいになっちゃったんだって。

だって、カミナリくんは、カミナリさまの子どもなんですから。